

① 広報のほがべっ

『毎月十日は防火の日』

火の始末 人にたのむな 任せるな



柳沼牧羊

白雲へ

芒を刺して

子ら帰る

空の雲が あかあかと焼けて

芒をかついだり

さしあげたりして

子らは帰ってゆく。

少年の日の くったくのない

あそびの中に

大人の世界への夢が

育てられる

どの子どもどの子も

輝く明日があり

未来がある。

選挙資格の申告は早めに

六月二十日現在で行った選挙資格調査は、従来の基本選挙人名簿を、九月から永久選挙人名簿にかわり、永久掘おき名簿となるためのものであります。

そこで、この名簿調製後は新有権者、および住所移転者（転入・転居）のみ毎年三月と九月の二回永久選挙人名簿に追加登録を行うこととなります。

したがって、毎年三月一日および九月一日までに名簿登録申告（申出）のあった方につき選挙資格を調査し、縦覧、異議の申出などを除いたのち永久選挙人名簿に登録され有権者となるわけです。

次の方は、追加登録者ですから来住三月一日まで、必ず登録申告

（註）登録申告用紙は役場住民課及び各支所に備付けてあります。受付時間は平常随時受付けております。その他詳しいことは窓口にお問い合せ下さい。

高、住所移転者は必ず住民登録をあわせ届出しなければなりません。

愛情銀行で明るい社会

愛情銀行とは

六月一日付で開設してから三ヶ月になりますが、一般にはあまり理解されていないように思われます。愛情銀行とは、社会のため、思まれない人々のため、あなたのため、専ら努力奉仕、技術奉仕、物品奉仕を登録、預託していただき、あなたの希望によって、とき、ところを選び、もっとも効果的に役立つ（払出）ところとす。

その後の愛情銀行は

愛情がささやかなものだと思ったり、手続や方法がわからないために機会を生かしている人がたくさんいます。

種別	一件数	摘要
金銭	二件九三、〇〇〇円	
衣物品	三件	学童服、紳士パ
食糧品	四件	菓子類、その他
雑誌	八七冊	
その他	一件	雑布、古切子、
その他	一件	その他
労働力	一件	ボーイ、カー
技術	一件	刷、看板

十五年勤続で表彰

全国町村議会議長会
会長より藤田隆雄さん
（登別）内藤秀吉さん
（来馬社宅）大山吉次
さん（来馬社宅）、この三
氏が表彰され、このた
び南議長より表彰状と記念品が
伝達されました。

この方たちは、多年議員として地方自治に専念し、町の発展につくした功績を讃え表彰されたものです。

心配ごと相談日は 毎月十日です

生活、医療、住宅、家事等心配ごとを解決するために三十四年四月から相談所を幌別生活館に開設しました。

いまでは気軽に利用されており利用者もふえております。

昨年一年の利用状況をみますと相談件数は二二七件

町社会福祉協議会では、毎月十日（休日のときは前日）、午前一時より午後三時まで、みなさんの心配ごと相談を受けています。

昨年一年の相談内容で多いものは、生活相談一〇九件、借金一一件、貸付資金二七件、児童相談一三件、疾病四九件、その他一八件の順になっています。

どうぞ、心配ごとについては遠慮なくご利用下さい。

尚、町住民課でも常時取扱っております。

町史編さんシリーズ

古老回顧座談会は紙面の都合により今月は休ませて頂きます。

おとしよりを幸せに 九月十五日は『敬老の日』

本年は国民祝日に「敬老の日」が制定され、九月十五日は第一回目の「敬老の日」を迎えることになりました。

殊にこの日は、長い年月、いろいろの面で社会の進展に力をつけて下さったおとしよりを、私たちは、つねに敬愛の念をもち、しあわせな余生を送ることができるよう努めなければなりません。

日本人の平均寿命は七十才に達し、戦前に比較すると二十年近くも長生きすることができるようになりました。

しかし私達の周囲をみると、おとしよりが毎日の生活を安心して暮らしている環境にあるとは思えません。

長寿と幸せは必しも一致しないのが現実の姿のようです。おとしよりの問題は、老人だけでなくみなさんと社会全体のものであることを忘れてはなりません。

老人の生活を円満におくらせるためには、家庭内の老人のささやかな願いも拒むことなく、お互に相手の立場を尊重し、進んで温かく楽しい雰囲気の中に抱いていくことが大切では、老令であるがために、その功績や、恩情への大きな感謝を忘れてはいけませんか。

また、おとしよりも社会の現実をよく知って、いたずらに權威に甘えず、時の流れにおぼれることなく、社会の一員として責任と義務を負担し、若い人々の人間的な義務を充分理解して、慕われ、愛され、おとしよりになりましよう。

としよりの福祉週間

九月十五日～九月二十一日

町社会福祉協議会では「敬老の日」を祝い、一層としよりを大切にすることを強調するため、十五日から二週間「としよりの福祉週間」として、各地区でいろいろの催物をするほか、みなさんに次のことがらを呼びかけ協力していただくことになりました。

- ▽家庭内では、お互に話し合い、理解して協力する。
- ▽老人をいたわり、家内仲よく、楽しい家庭をつくる。
- ▽健康を保ち、時代感覚を身につけて、話せる老人になるよう。
- ▽老人にできる仕事をもたせる。
- ▽地域ぐるみで行う老人福祉運動の推進に協力する。

おとしよりに明るく楽しい毎日を



老人福祉週間 9月15日～21日

幌別駐在所部隊

創立十三周年記念式典

行事も盛大に 九月二十四日

あなたが親しまれている自衛隊が、登別町に駐屯してから十三周年になります。

これを記念して、九月二十四日(土)、二十五日(日)の両日駐屯地周辺において、盛りたくさんの行事がはなやかにくりひろげられます。町民多数のおこしをお待ちしております。

主な行事をみると

- 二十四日の前夜祭
- 十七時～十八時(部隊にて) 自衛隊音楽隊と部隊仮装行列によるパレード
- 十八時～二十時三十分(幌別小学校屋体にて) 音楽と映画の夕べ(無料) 音楽

お知らせ

身体障害者手帳の切替を

昭和二十八年八月三十一日以前に手帳の交付を受けた方で、当時の手帳をそのまま携帯している方がおりますが、その手帳は無効になっておりますので、至急切替手続を済ませ下さい。

汲取の申込は

役場衛生課に

汲取の申込を、直接業者に申込んでいる人がおりますが、必ず役場衛生課、又は各支所に申込んでください。

町では、順番に業者に通知し、汲取業務をできるだけ円滑に行われるよう取扱いをしておりますのでご協力下さい。

自衛隊音楽隊、映画記録映画(バナマを超えて)、劇映画(道場破り)

二十五日の式典(駐屯地にて)

九時三十分～十時創立記念式典
十時五十分～十一時三十分 模擬戦展示

八時～十五時 武器装備品展示
八時～十六時 趣味作品展示
十三時～十六時 大運動会

なお、当日は九時から次のとおり車両運行しますので、ご利用下さい。

- 中学校前～生活館前～本町南商店前～上田コンクリート前～部隊正門前
- 小学校前～曙団地入口～フードセンター前～伊藤医院前～部隊正門前

九月十五日は祝日

よりよき社会と、より豊かな生活を築くために国民がこぞつて祝い感謝し、また記念する「国民の祝日」が、今年から次の二日多くなりました。

したがって祝日の当日は、役場の業務は休みとなります。

- ◎九月十五日「敬老の日」(多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う。)
- 十月十日「体育の日」(スポーツに励み、健康な心身をつちかう。)

今月の納税



- ◎町道民税(2期)
- ◎国民健康保険税(2期)

9月16日より9月30日まで必ず納期限内に納めましょう。

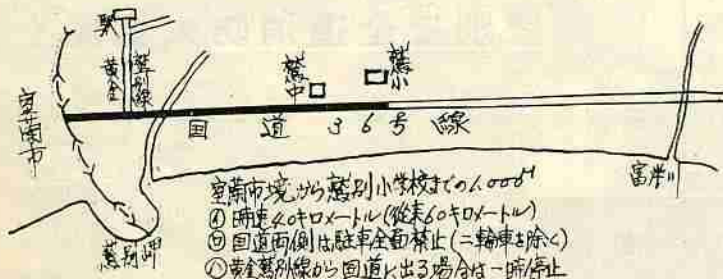
驚別く幌別く富浦地区 国道三十六号線 大幅な交通規制

九月一日より国道三十六号線の左の箇所が、夫々交通規制されましたので、運転手の方は、標識等を確認し、違反などのないよう充分ご注意ください。

驚別地区

幌別地区

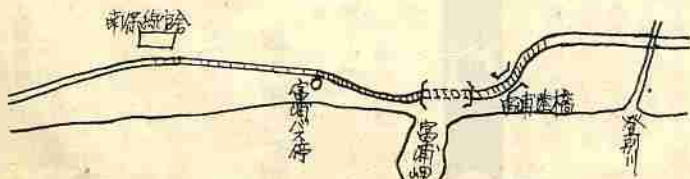
富浦地区



- 富井川から驚別小学校までの1.000M
- ①時速40キロメートル(従来60キロメートル)
- ②国道両側は駐車全面禁止(二輪車と除く)
- ③黄金郷別線から国道に出る場合は一時停止



- 上田コンクリート工場から長谷川商店までの1.100M
- ①時速40キロメートル(従来60キロメートル)
- ②国道両側は駐車全面禁止(二輪車と除く)
- ③長谷川商店から阿達別川まで時速60キロメートル



- ①富浦バス停から富浦陸橋を越えた中折までの1.300Mは追越禁止。
- ②富浦バス停から南保線分岐まで時速60キロメートル

温泉上水道拡張工事 完成まじか

昭和三十九年度から三ヶ年計画で進めておりました、登別温泉上水道の拡張工事が、本月末を以って完成の予定となっております。そこで、完成後の姿がどのようにかわるかについて、お知らせいたします。

なお、この水道の水圧は、通常六キロ以上もありますので、どのような地形でも安心して水道を引くことができます。

各家庭から給水工事の申込みがあった時、工事に着手するのは原則として、申込み順になっていきます。申込みだけは早目にしてお

給水地区	従前(現在)		完成後
	登別温泉簡易水道	別登簡易水道	別登温泉の1部
給水区域面積(㎡)	0.733	0.533	6,600
現在給水区域内人口	3,387	2,616	7,507
計画給水人口	2,630	1,880	13,500
現在給水人口	2,775	2,171	4,946
計画1日最大給水量(㎥)	650	202	4,125

用途別	専用		共用	
	(営業含む)		(牛馬槽)	
	基本	超過分	基本	超過分
従前(現在)	三三〇円	三三〇円	三三〇円	三三〇円
完成後	三三〇円	三三〇円	三三〇円	三三〇円

登別温泉上水道の拡張工事が完成することによって、これまでの簡易水道が廃止になり、登別地区の水道料が、十月分から次の料金(登別温泉の現在の料金と同額)になります。

登別地区の水道料金が異なります

登別で全道消防大会開く

第十八回北海道消防大会は、八月二十四日幌別中学校に、全道各地から約一千九百人の消防関係者が出席して開かれました。

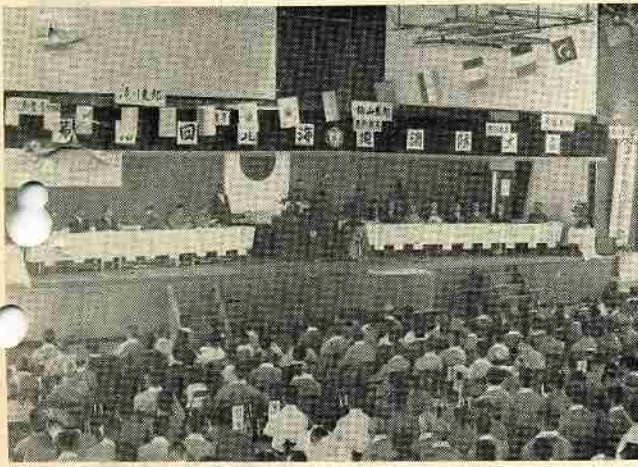
第一会場の幌別中学校屋内運動場で、午前九時三十分から開会式を行い、全道の殉難消防マンの霊に献花のあと、黙とうをささげ続いて天皇陛下のおことはを伝達して式を閉じ、表彰式に移った。

この表彰式では百八十名に対し、感謝状、表彰旗、その他の表彰が伝達されました。

長、堅田消防長のあいさつがあった、町村知事、日本消防協会から来賓の祝辞があり、午前中の日程を終えた。

午後は一時に再開し、協議事項の討議に入り、消防団員の処遇改善についてなど、五つの議題をとり上げ討議しました。引き続き研究体験、発表(岩見沢大火の概況)が行なわれ、午後四時第一会場の日程をおえしました。

第二会場では、登別温泉国際観光会館で、懇談会が催され、登別温泉名物、登別地獄太鼓が、会場いっぱいに鳴り響き、全道の消防関係者は、大いに楽しまれました。



町の人口

(七月末現在)

性別	人口
男	二〇、四四五人
女	二〇、〇四三人
計	四〇、四八八人
世帯数	一〇、三七三世帯

- 伴野三四(字来馬) 一、〇〇〇円
- コーヒーパールイ 七四八円
- 難波政一(字鶯別) 二、〇〇〇円
- 藤正雄(字来馬) 二、〇〇〇円
- 浄土真宗本願寺派第十一回胆振仏教婦人大会参加者一同 六、〇〇〇円
- 勝間百貨店(字登別) 衣料品 一、三三三円
- 浅沼商店(字幌別) パン三七ヶ
- 大越チヨノ(字来馬) 雑布二三〇枚
- 島山クメ子(字鶯別) 衣料品 四〇点

陸・海・空自衛隊 生徒募集

▽応募資格
十五才以上十七才未満の男子
(中学卒業の者)

▽受付
九月一日～十一月十九日
詳しいことは役場住民課にお問い合わせ下さい。

忘れ物のお知らせ

・黒リボン(ランヤ)
・帽子(二、三才女児)
役場住民課に保管してあります。